

研修・研究・会議費

小計 163,880 円

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	2,000 円	備考	
-----------	-----	---------	----	--

領 収 証

2016年4月9日

まただ市民クラブ会派 田中 様

¥ 2,000-

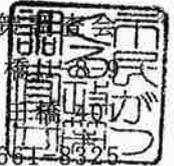
但 第6回「市民自治講座」受講料として 正に領収いたしました

特定非営利活動法人 市民がつくる政策調査会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-6-1

ニューシティハイツ飯田橋 401号

TEL;03-5226-8843/FAX;03-6661-8325



- ※ 領収書は重ねて貼付しない。
- ※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

市民がつくる政策調査会

- [ホーム](#)
- [活動・調査](#)
- [発行物](#)
- [本会について](#)
- [入会のご案内](#)
- [アクセス](#)
- [お問い合わせ](#)

4月9日に第6回「市民自治講座」を開催します
2016-03-01 | [活動・調査](#) | [4.市民自治講座](#)

2015年度の第6回「市民自治講座」のご案内

昨年から開講してきました「市民自治講座」の活動を継承し、1)歴史から学び、2)現在を捉え、3)将来を創造する、ことを基本的なポイントとして、自治を基本とした市民社会のあり方、つくり方を学び、自治を中心とした(地域)社会づくりに向けて、その担い手となる人づくりを進めるため、2015年度「市民自治講座」を開催します。

その第6回として、「市民が自治体をつくる」をテーマに、ドイツにおける市民自治体について学び、行政と議会と市民の関係、あり方について考え、意見交換を行います。ぜひご参加ください。

- テーマ
 - 市民が自治体をつくる
—首長(行政)と議会と市民の関係
- 日 時
 - 2016年4月9日(土)13時30分から17時30分
- 会 場
 - 中央大学駿河台記念館6F(東京都千代田区神田駿河台3-11-5)
 - * 地図 <http://www.chuo-u.ac.jp/access/surugadai/>
- プログラム
 1. ドイツの市民自治体を学ぶ
 - 坪郷 實 早稲田大学社会科学総合学術院教授/市民がつくる政策調査会代表理事
 2. 自治体(行政・議会)と市民との新たな関係を模索する
 - 井崎 義治 流山市長
 - 若林 智子 神奈川ネットワーク運動共同代表
 - 水口 和恵 小平都市計画道路に住民の意思を反映させる会共同代表
 3. 市民自治体のつくり方を考える
 - 制度、しくみと役割(全員討議)
 - 進行: 白井 和宏 市民セクター政策機構専務理事
- 定 員
 - 50人(定員になり次第×切)
- 参加費
 - 一般2,000円(学生1,000円)
- 主 催
 - 「市民自治講座」委員会
- 連絡事務局
 - 市民がつくる政策調査会
TEL:03-522-8843/FAX:03-6661-8325
- 参加申込み
 - 件名を「参加申込書(4/9)」とご記入のうえ、お名前、ご所属・団体名等、メールアドレス、電話番号、FAX番号、などをフォームメールでお送りください。

◀前 [1月30日に第5回市民自治講座を開催します](#) [8月6日に第1回「市民自治講座」を開催します](#) 次▶

検索:

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	30,000 円	備考	
-----------	-----	----------	----	--

領 収 証

まちだ市民クラブ 様 28年4月28日

★ ￥15,000

但「新たに始まった新教育委員会制度とは」
4/28 10:00～ 研修会受講代として
上記正に領収いたしました

一般社団法人行政改革推進
〒103-0004
東京都中央区東日本橋2丁目28-4-2階
TEL 03 (6869) 1143



領 収 証

まちだ市民クラブ 様 28年4月28日

★ ￥15,000

但「小中一貫教育」と「チーム学校」の要点と解説
4/28 14:00～ 研修会受講代として
上記正に領収いたしました

一般社団法人行政改革推進
〒103-0004
東京都中央区東日本橋2丁目28-4-2階
TEL 03 (6869) 1143



行政改革推進協会 主催

(議員として最低限知っておきたい!)

【 教育行政基礎講座 】

「小中一貫教育」と「チーム学校」の要点と解説

～最新議論！未来を作る教育のための論点をおさえよう～



講師：水野達朗

(家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事)

行政改革推進協会 主催

(議員として最低限知っておきたい!)

【 教育行政基礎講座 】

新たに始まった新教育委員会制度とは

～議員としておさえておきたい教育委員会の組織論と現実論～



講師：水野達朗

(家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事)

無題

べてるの家の当事者研究実践講座in町田

日時

2016年 5月 21日 (土曜日)

場所

町田市民ホール (地図)

説明

べてるの家の当事者研究実践講座in町田

日時: 2016年5月21日 (土) 10:30~16:00

場所: 町田市民ホール第4会議室

(小田急線町田駅から徒歩7分)

講師

向谷地生良氏 (北海道医療大学教授)

べてるの家のメンバー

①<午前の部> 10:30~12:30

テーマ: 「当事者研究カフェ」

<午後の部> 13:30~16:00

テーマ: 「イタリア・トリエステ視察報告~当たり前のことを普通に~」

なお、定員・対象・会費は、午前・午後ともにそれぞれ下記です。

定員: 70名、対象: 当事者・一般・支援者

会費: 当事者500円、一般3000円、ウレシパ会員2500円

※また、午前・午後を通してご参加の方は下記の会費となります。

当事者500円、一般5000円、ウレシパの会員4500円

お申込みは、名前・住所・TEL・対象・どちらの部に参加するかを添えてお申込みください。

<問合せ・申込み>

ウレシパの会事務局 (浦河べてるの家内)

TEL/FAX: 0146-22-5684

E-MAIL: e-mail@ureshipa-urakawa.jp

主催: MCMEDIAN

協力:

社会福祉法人浦河べてるの家

NPO法人セルフサポートセンター浦河

ウレシパの会

↑
○ 紹介
○ 当事者研究
↓
7分

当事者研究

↑
↓

7分

15分

15分

① 当事者研究
② 当事者研究

① (当事者研究) → 当事者研究

5分

15分

15分

○ 当事者研究

↓

↓

↓

① 当事者研究

↓

↓

↓

↓

↓

7分

研修・研究・会議費

頁小計

2,000

円

備考

領 収 書

河辺 康太郎 様

¥ 2, 000 -

但し、平成28年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

平成28年 5月27日 上記の金額正に領収いたしました

住 所 神奈川県相模原市中央区中央2丁目
氏 名 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会 長 久 保 田 義 貞

研修・研究・会議費

頁小計

2,000

円

備考

領 収 書

まちだ市民クラブ

戸塚 正人 様

¥ 2, 000 -

但し、平成28年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

平成28年 5 月 27 日 上記の金額正に領収いたしました

住 所 神奈川県相模原市中央区中央2丁目
氏 名 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会 長 久 保 田 義 貞

(案)

平成28年度

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

総 会

日 時 平成28年5月27日 (金)

午後4時から

会 場 相模原市立産業会館

総 会 次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議長選出

4 議 案

議案第1号 平成27年度活動報告について

議案第2号 平成27年度収支報告及び監査報告について

議案第3号 会則の一部改正について

議案第4号 役員の改選について

議案第5号 平成28年度活動計画について

議案第6号 平成28年度収支予算について

議案第7号 決議について

5 来賓あいさつ及び紹介

6 閉 会

平成 2 7 年度 活動報告

月 日	活 動 内 容	備 考
5 月 1 1 日	第 1 回役員会 ・ 会員・役員の状況及び顧問の就任について ・ 平成 2 7 年度総会の開催について	
5 月 2 5 日	総会 ・ 平成 2 6 年度活動報告について ・ 平成 2 6 年度収支報告及び監査報告について ・ 役員を選任について ・ 平成 2 7 年度活動計画について ・ 平成 2 7 年度収支予算について ・ 決議について	愛川町文化会館 ホール
8 月 3 1 日	要望活動	国土交通大臣 東京都知事
1 0 月 1 3 日	第 2 回役員会 ・ 平成 2 7 年度総会結果について ・ 平成 2 7 年度要望活動について ・ 役員・会員の状況について	
1 1 月 2 日	要望活動	国土交通省関東運輸局 小田急電鉄 (株)
2 月 4 日	要望活動	神奈川県知事
3 月 3 1 日	第 3 回役員会 ・ 平成 2 7 年度要望活動結果について ・ 平成 2 8 年度事業計画 (案) について ・ 役員について	

平成27年度 収支報告

1 収入

(単位:円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	差引額 (B-A)	摘要
1 会費	246,000	246,000	0	2,000円×123人
2 繰越金	140,587	140,587	0	
3 諸収入	413	30	△383	
計	387,000	386,617	△383	

2 支出

(単位:円)

科目	予算額 (A)	支出済額 (B)	差引額 (A-B)	摘要
1 事業推進費	350,000	280,639	69,361	
(1)会議費	100,000	96,611	3,389	総会及び役員会経費等 (会場、看板他)
(2)活動費	250,000	184,028	65,972	要望活動費等
2 事務費	30,000	39,754	△9,754	封筒作成等
3 予備費	7,000	0	7,000	
計	387,000	320,393	66,607	

3 差引

収入済額		支出済額		残額(繰越金)
386,617	-	320,393	=	66,224

平成28年度へ繰越し 66,224円

会計監査報告書

本議員連盟の平成27年度収支決算について、出納簿、証拠書類等を
監査したところ、適正に執行されていると認めます。

平成28年5月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

監査 川畑 一 隆 ⑩

監査 森 繁 之 ⑩

議案第3号

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会則の一部を改正する会則について

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会則の一部を改正する会則を次のように制定する。

平成28年5月27日提出

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会
会 長 久 保 田 義 則

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会則の一部を改正する会則

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会則の一部を次のように改正する。

第5条第1項中第7項を第8号とし、第2号から第6号までを1号ずつ下げ、第1号の次に次の1号を加える。

(2) 会長代行 1名

第5条中第7項を第8項とし、第6項を第7項とし、第5項を第6項とし、同条第4項中「補佐し、会長が欠けた時又は会長に事故があるときはその職務を代行する」を「補佐する」に改め、同項を同条第5項とし、同条第3項の次に次の1項を加える。

4 会長代行は、会長が欠けたとき、会長に事故があるとき、又は会長の命を受けたときは、その職務を代行する。

附 則

この会則は、平成28年5月27日から施行する。

提案の理由

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟の事業における取組の充実を図るため、所要の改正を行うもの

○新旧対照表

改正前	改正後
<p>第5条 この会に次の役員を置く。</p> <p>(1) 会 長 1名</p> <p>(2) 副会長 5名</p> <p>(3) 理 事 若干名</p> <p>(4) 会 計 1名</p> <p>(5) 監 査 2名</p> <p>(6) 事務局長 1名</p> <p>(7) 事務局 4名</p> <p>2 <略></p> <p>3 会長は、会務を総括する。</p> <p>4 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けた時又は会長に事故あるときはその職務を代行する。</p> <p>5 監査は、この会の会計を監査する。</p> <p>6 事務局長は、会務を掌理する。</p> <p>7 事務局は、事務局長を補佐する。</p>	<p>第5条 この会に次の役員を置く。</p> <p>(1) 会 長 1名</p> <p>(2) 会長代行 1名</p> <p>(3) 副会長 5名</p> <p>(4) 理 事 若干名</p> <p>(5) 会 計 1名</p> <p>(6) 監 査 2名</p> <p>(7) 事務局長 1名</p> <p>(8) 事務局 4名</p> <p>2 <略></p> <p>3 会長は、会務を総括する。</p> <p>4 会長代行は、会長が欠けたとき、会長に事故があるとき及び会長の旨を受けたときは、その職務を代行する。</p> <p>5 副会長は、会長を補佐する。</p> <p>6 監査は、この会の会計を監査する。</p> <p>7 事務局長は、会務を掌理する。</p> <p>8 事務局は、事務局長を補佐する。</p>

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則

(名 称)

第1条 この会は、「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟」という。

(目 的)

第2条 この会は、関係市町村の議員の連携により、小田急多摩線の延伸を促進し、もって近隣市町村の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携
- (2) 国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動
- (3) 広報活動その他目的達成に必要な事業

(組 織)

第4条 この会は、第2条の目的に賛同する関係市町村の議会議員をもって構成する。

(役 員)

第5条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 会長代行 1名
- (3) 副会長 5名
- (4) 理 事 若干名
- (5) 会 計 1名
- (6) 監 査 2名
- (7) 事務局長 1名
- (8) 事務局 4名

2 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その職務は後任者の就任のときまで行うものとする。また、役員任期において選任に変更があった場合は、その任期は前任者等の残任期間とする。

3 会長は、会務を総括する。

4 会長代行は、会長が欠けたとき、会長に事故があるとき及び会長の旨を受けたときは、その職務を代行する。

5 副会長は、会長を補佐する。

6 監査は、この会の会計を監査する。

7 事務局長は、会務を掌理する。

8 事務局は、事務局長を補佐する。

(顧問、参与及び相談役)

第6条 この会に顧問、参与及び相談役を置くことができる。

(事務局)

第7条 この会に事務局を置く。

2 事務局は、会長の市町村に置く。

3 事務局は、第3条に規定する事業の企画、立案等に関する事務を処理する。

(経費)

第8条 この会の経費は、会費その他の収入をもって充てる。

2 会費は年額2,000円とする。ただし、会長が必要と認める際は、増額することができる。

3 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

但し、平成21年度においては、平成21年11月4日より翌年3月31日までとする。

(補則)

第9条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は別途協議して定める。

(附則)

この会則は、平成21年11月4日から施行する。

(附則)

この会則は、平成22年5月27日から施行する。

(附則)

この会則は、平成24年5月23日から施行する。

(附則)

この会則は、平成26年5月15日から施行する。

(附則)

この会則は、平成28年5月27日から施行する。

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 役員名簿

役 職	職 名	氏 名
会 長	相模原市議会議員	久保田 義 則
会長代行	町田市議会議員	長 村 敏 明
副 会 長	町田市議会議員長	佐 藤 伸一郎
副 会 長	相模原市議会議員	岸 浪 孝 志
副 会 長	厚木市議会議員	松 田 則 康
副 会 長	愛川町議会議長	小 島 総一郎
副 会 長	清川村議会議員	山 本 善 男
理 事	町田市議会議	—
理 事	町田市議会議員	上 野 孝 典
理 事	町田市議会議員	河 辺 康太郎
理 事	相模原市議会議長	阿 部 善 博
理 事	相模原市議会議員	山 岸 一 雄
理 事	相模原市議会議員	須 田 毅
理 事	相模原市議会議員	西 家 克 己
理 事	厚木市議会議員	釘 丸 久 子
理 事	厚木市議会議員	石 井 芳 隆
理 事	厚木市議会議員	川 口 仁
理 事	愛川町議会議員	渡 辺 基
会 計	相模原市議会議員	米 山 定 克
監 査	町田市議会議員	川 畑 一 隆
監 査	相模原市議会議員	森 繁 之
事務局長	相模原市議会議員	中 村 昌 治
事務局	町田市議会議員	藤 田 学
事務局	厚木市議会議員	井 上 武
事務局	愛川町議会議員	井 出 一 己
事務局	清川村議会議員	落 合 圈 二

平成28年度 活動計画 (案)

- 1 小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携を行う。
- 2 国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動を行う。
- 3 広報活動その他目的達成に必要な事業を行う。

月 日	活 動 内 容	平成27年度実施状況
4月22日	第1回役員会	5月11日(月) 第1回役員会
5月16日	第2回役員会	
5月27日	平成28年度総会 【会場：相模原市産業会館】	5月25日(月) 平成27年度総会 【会場：愛川町文化会館】
総会以降	要望活動	8月31日(月) 国土交通省、東京都 11月 2日(月) 関東運輸局、小田急電鉄 2月 4日(木) 神奈川県
8～10月	第3回役員会	10月13日(火) 第2回役員会
3月下旬	第4回役員会	3月31日(木) 第3回役員会

平成28年度 収支予算 (案)

1. 収 入

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
1 会 費	246,000	246,000	0	2,000円×123人
2 繰越金	66,224	140,587	△74,363	
3 諸収入	776	413	363	
計	313,000	387,000	△74,000	

2 支 出

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
1 事業推進費	300,000	350,000	△50,000	
(1) 会議費	100,000	100,000	0	総会及び役員会経費等
(2) 活動費	200,000	250,000	△50,000	要望活動費等
2 事務費	8,000	30,000	△22,000	事務用品費等
3 予備費	5,000	7,000	△2,000	
計	313,000	387,000	△74,000	

決 議 (案)

首都圏南西部の広域交通ネットワークの形成に資する小田急多摩線の延伸は、公共交通網の利便性が向上することはもとより、広域交流拠点都市の発展のため極めて重要な役割を担うものであり、JR横浜線相模原駅・JR相模線上溝駅、更には田名地区を經由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されている。

去る4月20日に、交通政策審議会より国土交通大臣に対し、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」が答申された。本議員連盟では、今回の答申に、小田急多摩線延伸のより実効性ある位置づけがなされるよう、設立当初から積極的な活動を展開してきたところである。

この度の答申においては、当連盟の活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、意義のある地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトに選定されたところであり、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識している。

小田急多摩線を唐木田駅から愛川・厚木方面まで延伸させるためには、この答申において、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ、愛川・厚木方面への延伸を検討することが適当とされていることから、まず上溝駅までの整備を実現させなければならない、これに向けては、相模総合補給廠一部返還地のまちづくりを始めとする沿線開発の取組が重要である。町田市、相模原市においては、鉄道整備は経験したことのない一大プロジェクトとなるが、早期実現に向け、本議員連盟として最大限の支援を行うとともに、今後も引き続き、関係機関に積極的に働きかけるなど、小田急多摩線の日も早い延伸が実現するよう、私たち議員連盟の会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な活動を展開することを決意するものである。

以上、決議する。

平成28年 5月27日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書（案）

平素から、公共交通網の整備につきましては、格別の御高配を賜り心から感謝申し上げます。

首都圏南西部の広域交通ネットワークの形成に資する小田急多摩線の延伸は、公共交通網の利便性が向上することはもとより、広域交流拠点都市の発展のため極めて重要な役割を担うものであり、JR横浜線相模原駅・JR相模線上溝駅、更には田名地区を経由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されています。

去る4月20日に、交通政策審議会より国土交通大臣に対し、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」が答申されました。本議員連盟では、今回の答申に、小田急多摩線延伸のより実効性ある位置づけがなされるよう、設立当初から積極的な活動を展開してきたところです。

この度の答申においては、当連盟の活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、意義のある地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトに選定されたところであり、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたことを認識しております。

小田急多摩線を唐木田駅から愛川・厚木方面まで延伸させるためには、この答申において、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ、愛川・厚木方面への延伸を検討することが適当とされていることから、まず上溝駅までの整備を実現させなければならず、これに向けては、相模総合補給廠一部返還地のまちづくりを始めとする沿線開発の取組が重要です。町田市、相模原市においては、鉄道整備は経験したことのない一大プロジェクトとなりますが、早期実現に向け、本議員連盟として最大限の支援を行うとともに、今後も引き続き、関係機関に積極的に働きかけるなど、小田急多摩線の日も早い延伸が実現するよう、私たち議員連盟の会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めているところでございます。

つきましては、本連盟といたしましても、小田急多摩線延伸の早期実現を目指し、最大限の活動を展開いたしますので、地域住民の切実なる願いを叶うべく、特段の御配慮・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長 久保田 義則

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会員名簿

No.	議会	氏名	会派
1	町田市議会議員	佐藤 伸一郎	自由民主党
2	町田市議会議員	大西 宣也	保守連合
3	町田市議会議員	吉田 勉	保守連合
4	町田市議会議員	長村 敏明	自由民主党
5	町田市議会議員	川畑 一隆	公明党
6	町田市議会議員	浅見 美子	公明党
7	町田市議会議員	上野 孝典	公明党
8	町田市議会議員	藤田 学	自由民主党
9	町田市議会議員	熊沢 礼里	自由民主党
10	町田市議会議員	若林 章喜	自由民主党
11	町田市議会議員	新井 克尚	保守連合
12	町田市議会議員	奥 栄一	公明党
13	町田市議会議員	三遊亭 らん丈	自由民主党
14	町田市議会議員	岩瀬 和子	自由民主党
15	町田市議会議員	山下 哲也	公明党
16	町田市議会議員	市川 勝斗	自由民主党
17	町田市議会議員	河辺 康太郎	まちだ市民クラブ
18	町田市議会議員	戸塚 正人	まちだ市民クラブ
19	町田市議会議員	松岡 みゆき	自由民主党
20	町田市議会議員	渡辺 巖太郎	自由民主党
21	町田市議会議員	白川 哲也	保守連合
22	町田市議会議員	森本 誠也	まちだ市民クラブ
23	町田市議会議員	石川 好忠	自由民主党
24	町田市議会議員	松葉 祐巳	公明党
25	町田市議会議員	木目田 英男	自由民主党
26	町田市議会議員	小関 重太郎	まちだ市民クラブ
27	相模原市議会議員	阿部 善博	自由民主党相模原市議団
28	相模原市議会副議長	大沢 洋子	民進党・市民クラブ
29	相模原市議会議員	山岸 一雄	自由民主党相模原市議団
30	相模原市議会議員	長友 義樹	颯爽の会
31	相模原市議会議員	久保田 義則	自由民主党相模原市議団
32	相模原市議会議員	金子 豊貴男	民進党・市民クラブ
33	相模原市議会議員	稲垣 稔	自由民主党相模原市議団
34	相模原市議会議員	岸浪 孝志	民進党・市民クラブ
35	相模原市議会議員	沼倉 孝太	自由民主党相模原市議団
36	相模原市議会議員	米山 定克	公明党相模原市議団
37	相模原市議会議員	松永 千賀子	日本共産党相模原市議団
38	相模原市議会議員	加藤 明徳	公明党相模原市議団
39	相模原市議会議員	須田 毅	自由民主党相模原市議団
40	相模原市議会議員	長谷川 久美子	颯爽の会
41	相模原市議会議員	中村 昌治	自由民主党相模原市議団

No.	議会	氏名	会派
42	相模原市議会議員	小野沢 耕 一	自由民主党相模原市議団
43	相模原市議会議員	江 成 直 士	民進党・市民クラブ
44	相模原市議会議員	栗 原 大	民進党・市民クラブ
45	相模原市議会議員	竹 腰 早 苗	日本共産党相模原市議団
46	相模原市議会議員	栄 裕 明	公明党相模原市議団
47	相模原市議会議員	寺 田 弘 子	自由民主党相模原市議団
48	相模原市議会議員	野 元 好 美	颯爽の会
49	相模原市議会議員	古 内 明	自由民主党相模原市議団
50	相模原市議会議員	森 繁 之	民進党・市民クラブ
51	相模原市議会議員	石 川 将 誠	自由民主党相模原市議団
52	相模原市議会議員	桜 井 はるな	民進党・市民クラブ
53	相模原市議会議員	小 野 弘	自由民主党相模原市議団
54	相模原市議会議員	大 崎 秀 治	公明党相模原市議団
55	相模原市議会議員	久保田 浩 孝	公明党相模原市議団
56	相模原市議会議員	西 家 克 己	公明党相模原市議団
57	相模原市議会議員	関 根 雅吾郎	民進党・市民クラブ
58	相模原市議会議員	白 井 貴 彦	民進党・市民クラブ
59	相模原市議会議員	五十嵐 千 代	颯爽の会
60	相模原市議会議員	鈴 木 秀 成	民進党・市民クラブ
61	相模原市議会議員	小 田 貴 久	民進党・市民クラブ
62	相模原市議会議員	山 下 伸一郎	日本共産党相模原市議団
63	相模原市議会議員	山 口 美津夫	自由民主党相模原市議団
64	相模原市議会議員	後 田 博 美	公明党相模原市議団
65	相模原市議会議員	渡 部 俊 明	自由民主党相模原市議団
66	相模原市議会議員	宮 崎 雄一郎	自由民主党相模原市議団
67	相模原市議会議員	石 川 達	民進党・市民クラブ
68	相模原市議会議員	小 林 丈 人	民進党・市民クラブ
69	相模原市議会議員	南 波 秀 樹	公明党相模原市議団
70	相模原市議会議員	羽生田 学	日本共産党相模原市議団
71	相模原市議会議員	田 所 健太郎	日本共産党相模原市議団
72	相模原市議会議員	鈴 木 晃 地	颯爽の会
73	厚木市議会議員	越 智 一 久	あつぎみらい
74	厚木市議会副議長	名 切 文 梨	民進党
75	厚木市議会議員	松 田 則 康	あつぎみらい
76	厚木市議会議員	釘 丸 久 子	日本共産党厚木市議員団
77	厚木市議会議員	石 井 芳 隆	新政あつぎ
78	厚木市議会議員	沼 田 幸 一	あつぎみらい
79	厚木市議会議員	田 上 祥 子	公明党
80	厚木市議会議員	高 田 浩	改革あつぎ
81	厚木市議会議員	寺 岡 まゆみ	公明党
82	厚木市議会議員	川 口 仁	公明党
83	厚木市議会議員	神 子 雅 人	あつぎみらい
84	厚木市議会議員	栗 山 香代子	日本共産党厚木市議員団

No.	議会	氏名	会派
85	厚木市議会議員	井上 武	改革あつぎ
86	厚木市議会議員	難波 達哉	あつぎみらい
87	厚木市議会議員	松本 樹影	あつぎみらい
88	厚木市議会議員	渡辺 貞雄	あつぎみらい
89	厚木市議会議員	井上 敏夫	新政あつぎ
90	厚木市議会議員	遠藤 浩一	公明党
91	厚木市議会議員	瀧口 慎太郎	あつぎみらい
92	厚木市議会議員	新井 啓司	新政あつぎ
93	厚木市議会議員	高橋 豊	あつぎみらい
94	厚木市議会議員	新川 勉	新政あつぎ
95	厚木市議会議員	田口 孝男	新政あつぎ
96	厚木市議会議員	山崎 由枝	公明党
97	厚木市議会議員	高橋 知己	新政あつぎ
98	厚木市議会議員	望月 真実	民進党
99	愛川町議会議長	小島 総一郎	みらい絆
100	愛川町議会副議長	熊坂 弘久	愛政クラブ
101	愛川町議会議員	井上 博明	日本共産党愛川町議員団
102	愛川町議会議員	小倉 英嗣	愛政クラブ
103	愛川町議会議員	小林 敬子	日本共産党愛川町議員団
104	愛川町議会議員	馬場 司	愛政クラブ
105	愛川町議会議員	山中 正樹	愛政クラブ
106	愛川町議会議員	井出 一己	公明党
107	愛川町議会議員	渡辺 基	新風あいかわ
108	愛川町議会議員	佐藤 茂	新風あいかわ
109	愛川町議会議員	木下 眞樹子	みらい絆
110	愛川町議会議員	佐藤 りえ	公明党
111	愛川町議会議員	熊坂 崇徳	みらい絆
112	愛川町議会議員	鈴木 信一	日本共産党愛川町議員団
113	愛川町議会議員	岸上 敦子	公明党
114	愛川町議会議員	阿部 隆之	新風あいかわ
115	清川村議会議長	岩澤 敏雄	無所属
116	清川村議会副議長	山本 雅彦	無所属
117	清川村議会議員	藤田 義友	共産党
118	清川村議会議員	落合 園二	無所属
119	清川村議会議員	川瀬 正行	無所属
120	清川村議会議員	山本 善男	無所属
121	清川村議会議員	村上 俊光	無所属
122	清川村議会議員	笹原 和織	無所属
123	清川村議会議員	細野 洋一	無所属

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 顧問・参与名簿

役 職	職 名	氏 名	備 考
顧 問	衆議院議員	小 倉 將 信	自由民主党
顧 問	衆議院議員	赤 間 二 郎	自由民主党
顧 問	衆議院議員	後 藤 祐 一	民進党
顧 問	衆議院議員	義 家 弘 介	自由民主党
顧 問	衆議院議員	本 村 賢太郎	民進党
顧 問	参議院議員	中 川 雅 治	自由民主党
顧 問	参議院議員	小 川 敏 夫	民進党
顧 問	参議院議員	小 泉 昭 男	自由民主党
顧 問	参議院議員	松 沢 成 文	無所属
顧 問	参議院議員	佐々木 さやか	公明党
顧 問	参議院議員	牧 山 弘 恵	民進党
参 与	東京都議会議員副議長	小 磯 善 彦	公明党
参 与	東京都議会議員	吉 原 修	自由民主党
参 与	東京都議会議員	小 磯 明	自由民主党
参 与	神奈川県議会議員	佐々木 正 行	公明党
参 与	神奈川県議会議員	長 友 克 洋	かながわ民進党
参 与	神奈川県議会議員	寺 崎 雄 介	かながわ民進党
参 与	神奈川県議会議員	河 本 文 雄	自由民主党
参 与	神奈川県議会議員	細 谷 政 幸	自由民主党
参 与	神奈川県議会議員	八 木 大 二 郎	自由民主党
参 与	神奈川県議会議員	藤 井 克 彦	共産党
参 与	神奈川県議会議員	京 島 圭 子	かながわ民進党
参 与	神奈川県議会議員	堀 江 則 之	自由民主党
参 与	神奈川県議会議員	佐 藤 知 一	かながわ民進党
参 与	神奈川県議会議員	山 口 貴 裕	自由民主党
参 与	神奈川県議会議員	馬 場 学 郎	県政会

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	3500 円	備考
-----------	-----	--------	----

領 収 証

また市民777会派 様 No. _____

金額

¥ 3500 -

内 訳 _____
 現金 _____
 小切手 _____ /
 手 形 _____ /

但第9回JDEC(日本カヌー協会)参加費として
 2016年 6月 25日 上記正に領収いたしました

収入印紙

消費税額等(%) _____

〒114-0021 東京都北区岸町1-9-19フーズビル
 代表取締役 代表理事
 フリースクール全国ネットワーク
 TEL/FAX: 03-5924-0525



コクヨ ケー92

※ 領収書は重ねて貼付しない。
 ※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

Japan Democratic Education Conference

IDEFC

第9回 日本フリースクール大会

プログラム

6.25(土) 「教育機会の確保に関する法律」と
13:30~20:00 国のフリースクール等検討をめぐって
※法案の審議状況によって変更になる可能性があります

6.26(日) 「フリースクールの子ども中心の学び」
9:30~16:00 子どもシンポジウム & 実践交流

会場

東京シュレーゲル中學校
JR総武線「新小岩」徒歩10分

参加費

1日3,500円 2日間6,000円

主催：NPO法人フリースクール全国ネットワーク

TEL&FAX 03-5924-0525

E-mail info@freeschoolnetwork.jp



領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	/2000 円	備考
-----------	-----	---------	----

領 収 書

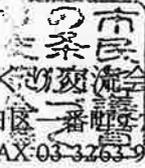
千代田市民クラブ
会派様

2016年7月31日

7,000円

2016年度 年会費として
上記正に領収いたしました

市民と議員の条例づくり交流会議
〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7-6F
TEL 03-3234-3808 FAX 03-3263-9463



領 収 書

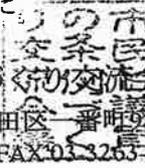
千代田市民クラブ
会派様

2016年7月31日

5,000円

交流会議2016 参加費として
上記正に領収いたしました

市民と議員の条例づくり交流会議
〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7-6F
TEL 03-3234-3808 FAX 03-3263-9463



- ※ 領収書は重ねて貼付しない。
- ※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

自治体議会改革フォーラム

【入会案内】お申込(各種手続き)フォーム

▼市民と議員の条例づくり交流会議の活動は、会員によって支えられています。ぜひ、自治体議会の改革や市民自治体づくりへ向けた活動・ネットワークにご参加ください。会員となって、会の活動をご支援いただけますようお願いいたします！

※2015年度より年会費を改定いたしました。

【2008年～2014年 年会費:5,000円】

↓

【2015年～ 年会費:7,000円※議会改革白書当該年度版をお届けいたします】

▼会員になると

・総会(総会企画)や交流会議(夏・全国大会)等の主催事業に、会員価格にてご参加いただけます。

(地方企画等、実行委員会形式の事業では、会員価格等の設定ができない場合があります)

・会員企画や各種プロジェクトへご参加いただけます。

・関連情報や調査・研究成果等を、いち早くお届けいたします。

・ニュースレターをお届けいたします。

・議会改革白書当該年度版をお届けいたします【2015年度より】

・議会改革白書バックナンバー等含めて会員価格にてお求めいただけます。

・その他、さまざまな設定等を検討しています。

▼会員種別

・個人会員(市民会員・議員会員)と団体会員があります。

(議員の方は、個人・議員会員としてご入会ください)

・メール会員制度(年会費:2,000円)を設立しました【2015年度より】

各種案内やニュースレター等含めて、メールのみでのご案内となります。

(議員以外の方のみ／主催事業等へは、会員としてご参加いただけます)

▼年会費

・個人会員・団体会員ともに、年会費は一口7,000円です【2015年度より】

・年度は、1月1日～12月31日です

都知事選・投票日ですが
開催します!!

2016年 7月 31日 (日)

法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎薩埵ホール

参加費○会員議員 5千円・会員市民 (無料)
一般議員 1万円・一般市民 2千円

※前日30日 (土) に特別企画と交流会を企画しています。

プログラム (本大会・全国交流会議)

10時00分 午前の部 (講演とコメント)

- ・議会基本条例と議会調査10年 長野 基 (首都大学東京)
- ・基調講演「議会基本条例で進んだ改革、これからの改革」
廣瀬克哉 (法政大学)
- ・コメント: 江藤俊昭 (山梨学院大学)、中尾修 (東京財団)

13時15分 午後の部 (実践報告とパネルディスカッション)

- ・実践報告: 鶴川和彦 (栗山町議会議長)
三谷哲央 (三重県議会議会改革推進会議会長)
目黒章三郎 (会津若松市議会議長)
- ・コメント: 土山希美枝 (龍谷大学)

15時30分 閉会

▼7月30日 (土) 特別企画と交流会 (要申込)

◎法政大学市ヶ谷キャンパスボアソナードタワー等、予定

特別企画「キーパーソンと語る」(各定員20人/先着順)

<7人の改革の実践者が、膝詰めゼミ方式で、参加者の
悩みや課題に双方向でこたえる特別企画を開きます>

14時~15時30分

- [A] 元栗山町議会事務局長・中尾修さんと語る「中尾ゼミ」
- [B] 会津若松市議会議長・目黒章三郎さんと語る「目黒ゼミ」
- [C] 前流山市議会議員・松野豊さんと語る「松野ゼミ」
- [D] 生駒市議会議員・塩見牧子さんと語る「塩見ゼミ」

16時~17時30分

- [E] 前所沢市議会議長・桑島健也さんと語る「桑島ゼミ」
- [F] 大津市議会局・清水克士さんと語る「清水ゼミ」
- [G] 三重県議会議員・三谷哲央さんと語る「三谷ゼミ」

交流会 (18時15分~19時45分ごろ終了予定)

主 催○市民と議員の条例づくり交流会議

法政大学ボアソナード記念現代法研究所

問合せ○事務局 TEL 03-3234-3808 FAX 03-3263-9463

E-mail jourei@jourei.jp URL <http://www.jourei.jp/>

議論の広場になれたのか/市民の問題解決に役立ったのか
議会基本条例で進んだ改革、これからの改革

市民と議員の条例づくり交流会議2016 シリーズ「議会基本条例10年」II

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	8000 円	備考	
-----------	-----	--------	----	--

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
28-08-26	01695	カード [®] 電信振替
記号	番号	
*****	*****	
取扱番号	お取引金額	
N599	*8,000	
	残高	
	*	
振替先 00140	359427	
	(〇一九 359427)	
受取人名:ニホンシテイス [®] ソシツ [®] キョ		
ウイクフォーラム		
依頼人名:タナカ ノリコ		
年金 新規お受取りキャンペーン 実施中!詳しくは、貯金窓口へ。		
ご利用いただきましてありがとうございました。		
— ゆうちょ銀行 —		

2016年度 年公費

※ 領収書は重ねて貼付しない。
 ※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

J-CEFとは 事業内容 最新情報 入会案内 お問い合わせ

入会案内

[会員制度](#)

[会員特典](#)

[入会方法](#)

[入会フォーム](#)

J-CEF会員専用ページ
ログインはこちら

日本シティズンシップ教育フォーラム(J-CEF)では、日本におけるシティズンシップ教育推進環境の整備や、関係者のネットワーキングなどに取り組んでいきます。そうした当会のミッションや活動に共感し活動を支えていただける会員を募集しています。私たちと一緒に、シティズンシップ教育が拓く未来をつくっていきませんか。

会員制度

- 1) 正会員(一般)年会費 8,000円
- 2) 正会員(学生)年会費 3,000円
- 3) 賛助会員 一口 5,000円

正会員は総会での議決権を有します。

会員期限は毎年1月1日から12月31日までです。年度内の途中入会の場合でも入会日から12月31日までとなります。

会員特典

—ニュースレターを無料でお届けします。

—会員用メーリングリストに登録できます。

会員用メーリングリストを通じて、日本各地のシティズンシップ教育にかかわる最新情報を得たり、発信することができます。

入会方法

- 1) [入会フォーム](#)のページから必要事項をご記入ください。
- 2) 郵便局に備え付けの「払込取扱票」をご使用いただき、以下の口座に振り込みをお願いいたします。

口座記号番号:00140-3-359427

加入者名:日本シティズンシップ教育フォーラム

※通信欄にお申し込みの会員区分についてご記入ください。

※いただいた個人情報は会員登録手続き等の業務と今後の催事において、日本シティズンシップ教育フォーラムが利用します。個人情報は目的の範囲内で利用するとともに適切な方法で管理し、法令上の特段の事情がない限り、本人の同意なしに第三者への目的外で開示・提供はいたしません。

お問合せ

日本シティズンシップ教育フォーラムJ-CEF

〒661-0965 兵庫県尼崎市次屋1-2-20 ハイツアメニティ2-203号室

Tel.070-6506-0369 E-mail info@jcef.jp URL <http://jcef.jp>

Twitter @J_CEF Facebook <http://facebook.com/jcef.jp>



J-CEF

日本シティズンシップ教育フォーラム

〒661-0965

兵庫県尼崎市次屋1-2-20

ハイツアメニティ2-203号室

Tel.070-6506-0369

E-mail: info@jcef.jp

J-CEFとは 事業内容 最新情報 入会案内 お問い合わせ

©2013 J-CEF.All Rights Reserved.

タグ	アクティブラーニング シティズンシップ教育 主権者教育 18歳選挙権 若者の社会参加 ユースワーク
----	--

イベント概要

2017年03月18日

第4回シティズンシップ教育ミーティング

東京都豊島区西池袋3-34-1

<http://kokucheese.com/event/index/447910/>

現在日本各地では、様々なシティズンシップ教育の実践や研究、政策形成が展開されてきています。いま大切なのは、異なる立場や関心、カ点をもった方々がともに集まり、議論を交わし、その多様性を日本のシティズン...

HOME > 2017年3月18日 > 東京都 > 日本シティズンシップ教育フォーラム (J-CEF)

イベントは終了いたしました。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	20,000 円	備考
-----------	-----	----------	----

領 収 証

キホダ市民クラブ
戸塚正人 様

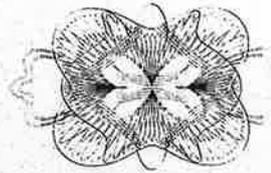
No. 443

金額

¥ 20,000.-

但 研修会会費

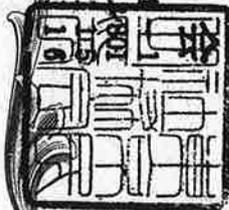
平成 28年 8 月 29 日 上記正に領収いたしました



内 訳

消費税額等(印 税 法
	第5条の1
	別表1-22

東京民社協
東京都中央区新富1-4
〒104-0041 サイブ新富ビル
TEL 03-3551-1116
FAX 03-3551-1116



勉強会参加費 資料不在規約添付

※ 領収書は重ねて貼付しない。
※ 領収書が枠からはみ出す場

辞書 | 韓国-対韓国辞書 | 英和-和英辞典 | 日中中日辞典 | 日韓韓日辞典 | 古語辞典 | その他の辞書 |

Weblio 辞書 FAQ よくある質問

weblio 辞書
566の専門辞書や国語辞典百科事典
から一度に検索!

外壁塗装の適正価格は？

利用者の93%が【安くなった】と回答。あなたの街の適正価格/5秒
でチェック! gaiheldi.yeay.jp



民社協会 民社協会の概要 参加元一覧

民社協会

と一致する

項目が異なる

検索

Weblio 辞書 > 辞書・百科事典 > 百科事典 > 民社協会の解説 > 民社協会の概要

辞書ショートカット

ウィキペディア 索引トップ 用語の索引 ランキング カテゴリ

1 ウィキペディア

カテゴリ一覧

- 全て
- ビジネス
- 業界用語
- コンピュータ
- 電車
- 自動車・バイク
- 船
- 工学
- 建築・不動産
- 学園
- 文化
- 生活
- ヘルスケア
- 趣味
- スポーツ
- 生物
- 食品
- 人名
- 方言
- 辞書・百科事典

すべての辞書の索引

- あ い う え お
- か き く け こ
- さ し す せ そ
- た ち つ て と
- な に ぬ ね の
- は ひ ふ へ ほ
- ま み め む
- や ゆ よ
- ら り る れ ろ
- わ を ゑ
- が ぎ ぐ げ ぎ
- ざ じ ず ぜ ざ
- だ ぢ づ だ
- ば び ぶ べ ぼ
- び び べ

- A B C D E
- F G H I J
- K L M N O
- P Q R S T
- U V W X Y
- Z

- 1 2 3 4 5
- 6 7 8 9 0
- 記号

民社協会

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』(2017/03/14 09:45 UTC 版)

目次

- 1 概要
- 2 沿革
 - 2.1 新進党時代
 - 2.2 民主党時代
 - 2.3 民進党時代
- 3 所属国会議員一覧
 - 3.1 役員
 - 3.2 参議院議員
 - 3.3 衆議院議員
 - 3.4 過去の在籍者
- 4 政治資金収支報告書の記載
- 5 脚注
 - 5.1 注釈
 - 5.2 脚注
- 6 関連項目
- 7 外部リンク

民社協会

略称	川端グループ→高木グループ 旧民社党グループ
前身	民社党
設立年	1994年
設立者	米沢隆
種類	政治団体
メンバー	民進党所属国会議員・地方議員等
会長	高木善明
重要人物	川端達夫
提携	旧同盟系党組
関連組織	民社党 新進党 新党友愛

概要

民進党に所属する国会議員と党所属あるいは無所属の地方議員(500人弱)によって構成されている。民社党消滅後に政界入りした議員も加入している。現在は高木善明が理事長を務めており、マスコミなどでは高木グループまたは旧民社党グループの名称で紹介されることもある。旧同盟系党組の組織力を背景に結束力が強い。

その一方で、所属議員の若返り、高齢化、自由民主党への移籍などで勢力は退潮傾向にある。また、地方議員では民進党に属さず無所属または自民党派で活動している例もある(例えば、大阪府議会・大阪市議会では民社系議員は民進党派ではなく、自民党派系に所属しており、会員の「旧民主・民進離れ」が進んでいる^[要出典])。

沿革

新進党時代

1994年12月に民社党が解党して新進党の結成に参加した際に、旧民社党所属の国会議員・地方議員によって結成された。このような沿革から、連合内の旧同盟系党組(自動車教養連、電力教連、山ゼンセン同盟など)を支持基盤としている。

1997年12月の新進党解党時点では旧民社党系国会議員が33名いた。彼らの進路は、以下に示すように、新党友愛に23名、自由党に9名、無所属に1名と分かれた。

新党友愛(23名)				
伊藤英成(衆議院)	川端達夫(衆議院)	鎌田前哉(衆議院)	神田厚(衆議院)	今田保典(衆議院)
嶋隆(衆議院)	島津尚輝(衆議院)	城島光力(衆議院)	高木善明(衆議院)	田中慶秋(衆議院)
玉置二弥(衆議院)	中野嘉成(衆議院)	福岡宗也(衆議院)	吉田治(衆議院)	足立良平(参議院)
石田美栄(参議院)	今泉照(参議院)	藤本健司(参議院)	寺嶋昭久(参議院)	直嶋正行(参議院)
長谷川清(参議院)	平田健二(参議院)	吉田之久(参議院)		
自由党(9名)				

2分でわかる!

【クラウド型CRM・顧客管理】

「使いやすさ」と「拡張性」で、
15万社以上が導入。

無料デモを見る >>

法人向けの高品質な翻訳サービス



スマート翻訳なら高品質で
プロフェッショナルな翻訳に
迅速に対応致します。

>>スマート翻訳

「民社協会」の関連用語

- 1 民社ユース 百科事典 38%
- 2 野木実 百科事典 34%
- 3 今田保典 百科事典 34%
- 4 和田春生 百科事典 18%
- 5 鎌田前哉 百科事典 16%
- 6 水落康一郎 百科事典 16%
- 7 向山好二 百科事典 16%
- 8 米沢隆 百科事典 15%
- 9 新党友愛 百科事典 14%
- 10 瀧口誠 百科事典 14%

民社協会のお隣キーワード

- 民生路駅
- 民用电空局
- 民由合併
- 民社
- 民社ユース
- 民社党
- 民社協会
- 民社国連立政権
- 民社史也
- 民社費也
- 民自党
- 民航空運公司
- 民航空運公司10便墜落事故

英和和英テキスト翻訳 >> Weblio翻訳

「英訳したい日本語の文章」か、「和訳したい英語の文章」を入力してください。

◎ 英語⇒日本語
○ 日本語⇒英語

翻訳する

検索ランキング

1~10位 11~20位 21~30位

ぐずつり天気

高々

高々とする

iPad

あざとい

居費力

研修・研究・会費

頁小計

1,000

円

備考

領 収 証

1728年 8月 5日

手あだ市民クラブ 様

¥1000-

旭検査の参加費

但

上記の金額、正に領収いたしました。



雨水ネットワーク全国大会in東京実行委員会
千代田区麹町3-7-1半蔵門村山ビル1F 雨水貯留浸透施設研究会
実行委員長 中川 清史

※※
領収書は重宝
領収書が持た

2016

8/5

~~雨水利用学会~~ ネット

雨水ネット全国大会in
東京実行委員会

領収証 添付資料

(当日レジックは
ありません)



環境省
Ministry of the Environment

編集・発行 環境省自然環境局
E-mail: NBSAP@env.go.jp

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1丁目2番2号
編集協力: 三栄UPリサーチ&コンサルティング株式会社
八千代エンジニアリング株式会社

2011-2020



アヨちゃんサトウくんといっしょたち



ミックス
FSC
C013628

© Ministry of the Environment 2016



自然と人が
よりそって
災害に対応する
という考え方

地域情報満載！地域創生のための総合情報

地域人

第18号



編集
清水慎一の
日本版DMO講座
| 信州いよいよま観光局 |

人間と自然資源
| ニューヨーク |

豪華連載陣

養老孟司

清成忠男

浦井雅之

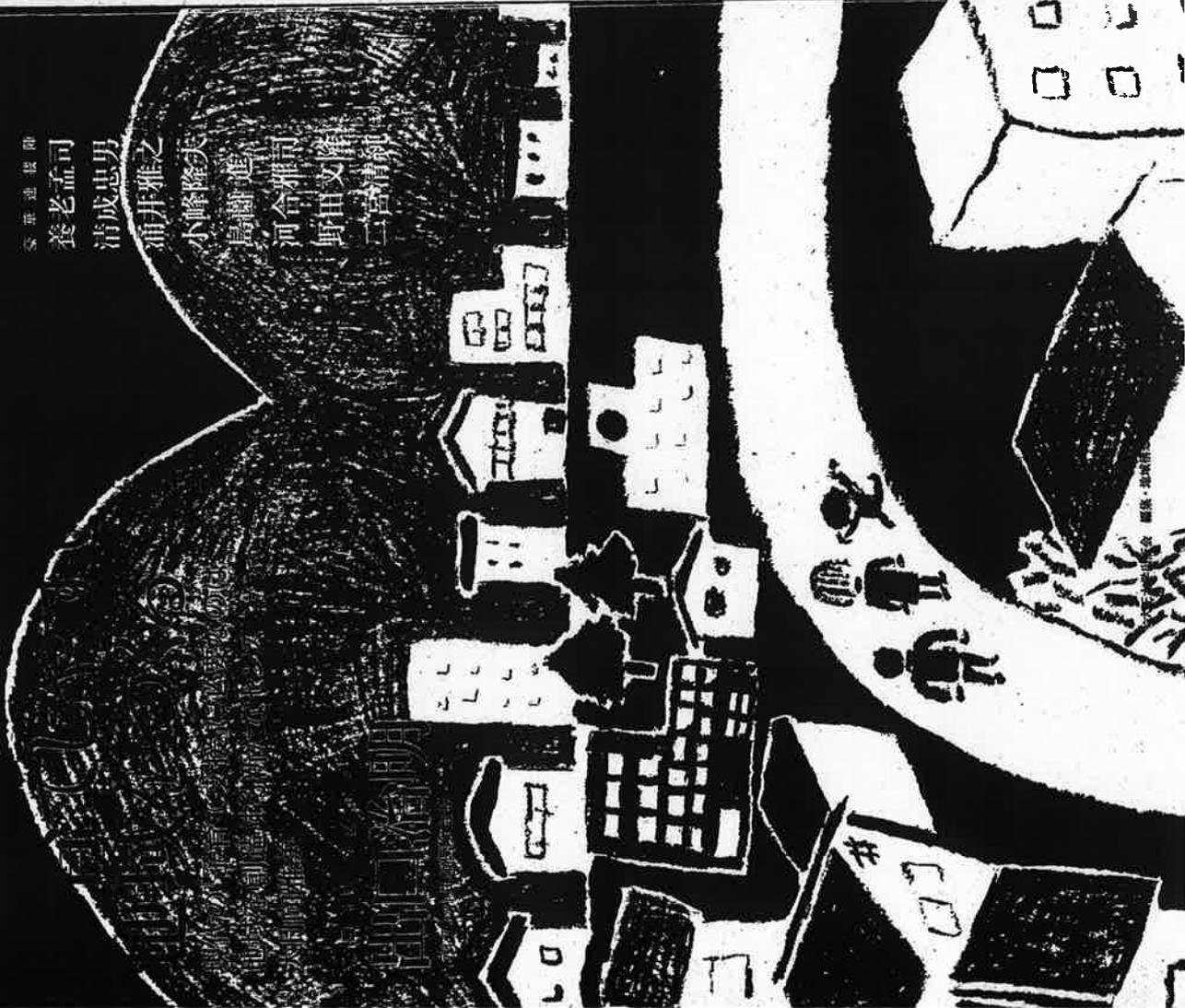
小峰隆夫

島樹建

河合雅司

野田文隆

二宮清純



2016

8/5 両水ネットワ-ク全国下会
に東京実行委員会 領収証 添付資料

魅

(当日シジメは
ありせん)

地域づくり 力ある

川から始まる

川から広がる

河川を基軸とした生態系ネットワークの形成



領 收 書 等 貼 付 用 紙

研修研究会費	頁小計	2,500 円	備考	
--------	-----	---------	----	--

領 収 証

2016年10月1日

まちだ市民クラブ会派様

¥ 2,000-

但 第2回「市民自治講座 2016」受講料として 正に領収いたしました

特定非営利活動法人 市民がつくる政策調査会

156-0044 東京都世田谷区赤堤 4-1-6 赤堤館 3F

TEL:03-6820-8061 FAX:03-6379-2711



まちだ市民クラブ会派 様

領 収 証

¥ 500-

但し、資料代として
平成 28年 10月 7日

クオータ制を推進する会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-23-1-25 WAVE VIN 内
TEL:03-5304-7874 FAX:03-5304-7876
E-mail:q-book2013@bpw-japan.jp



貼る。

代表制とは何か

—首長・議員と市民との関係性を考える

【プログラム】

13:30 開会・挨拶

【第1部】選挙で代表者を選ぶということの意味を学ぶ —民主主義と権力の変遷

◎ 只野 雅人 一橋大学法学研究科国際・公共政策研究部教授

15:00 【第2部】有権者は何を委任しているのか —決め事、決め方とその主体

◎ 西寺 雅也 元多治見市長 (元市議のり)

◎ 小西 みか 清瀬市議会議員 / 東京・生活者ネットワーク

16:00 休憩

16:10 【第3部】代表者と市民(有権者・納税者等)との関係を考える(登壇者間+参加者との討議)

◎ 進行:坪郷 實 早稲田大学社会科学総合学院教授

／市民がつくる政策調査会代表理事

17:30 閉会

◎開催日 2016年10月1日(土)13:30~17:30

◎会場 中央大学駿河台記念館3F・320号室

◎主催 「市民自治講座」委員会

◎事務局 市民がつくる政策調査会 156-0044 東京都世田谷区赤塚4-1-6 赤塚館3F

TEL:03-6820-8061 FAX:03-6379-2711 メール:shimin@c-poli.org

10/7

緊急案内 10/7(金)開催決定!



今臨時国会で必ず 女性議員をふやす 推進法の制定を!

『推進法』=「政治分野における男女共同参画推進法案」

日時: 2016年10月7日(金) 12:30~14:00

会場: 衆議院第二議員会館 1階 多目的会議室

資料代: 500円 ※当日会場受付にて集金させていただきます

事前申込み不要・当日会場にお越しください。

10/7(金) 12:30~14:00

「政治分野における女性の参画と活躍を推進する議員連盟」
国会議員よりのあいさつ

パネルディスカッション 『推進法』の制定 ～直観と期待～

三浦 まり 上智大学教授 超党派議員有識者
大田 礼子 駒澤大学教授
柳野 明二 共同通信社編集委員

地方議会における『推進法』制定意見書採択の報告

参加者からのアピール

各党への議員区別



主催: クオータ制を推進する会 代表 赤松良子

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1-725 WIN WIN内

Email:q-book2013@bpw-japan.jp FAX:03-5304-7876

研究費-研究費-会派費

頁小計

2,000 円

備考

1/1月 領収書等貼付用紙

No. 2041

2016年11月17日

領収書

まちだ市民クラブ会派 様

¥ 2,000 -

但 資料代として
上記正に領収いたしました

TPPを考える会 事務局 三雲崇正
東京都新宿区高田馬場1-17-17-301

別紙に貼る。



このまま批准していいの?
 (続) そうだったのか!
TPP
 24のギモン
 編集・発行: TPPテキスト分析チーム

「 TPP協定で日本は変わるのか」の4/18(水)の号に「 TPP協定で日本は変わるのか」の4/18(水)の号に「 TPP協定で日本は変わるのか」の4/18(水)の号に

TPP協定で
日本はどう変わるか
 元農林水産大臣・弁護士
山田 正彦
 TPP

医療への影響

医療は金持ちでないと受けられなくなる?!

医薬品の価格がどうなる?

＜従来＞ 日本独自で価格を決められる	＜TPP協定＞ 外資製薬会社が価格決定に介入
-----------------------	---------------------------

・第2章の付属書によれば、独立機関を設けて外資製薬会社が薬品・医療機器の価格決定に介入することになる。また、不服であれば異議申立ができる。

ジェネリック医薬品が作れなくなる?

・バイオ医薬品データ保護期間: 最長8年間 ⇒ その間、ジェネリック医薬品が作れない

従来 特許期間切れの医薬品は 廉売をすれば形式的な事案で 事由に作ることができる	TPP協定 政府は別売した廉売会社に 【通知】をしなければならない (第18章51条)	外資製薬会社は認めない!
---	--	--------------

↓

・外資製薬会社は日本の行政不服審査法(改定)による異議・不服申立(裁判) ⇒ その間の緊急措置も可能、その後も高価格のまま販売継続

医療は金持ちでないと受けられなくなる?!

政府は国民健康保険を強制的に広げるのか?!

・第11章(金融サービスの章)では、『締約国が採用する法律による社会保険制度は民間化しない』となっているが、『政府が認める金融機関については例外』となっている ⇒ 金融機関には保険会社も外資だし、いずれアフラックなど民間医療保険も参入してくる

医療に参入する民間の付帯企業では、政府は別売の廉売品の買出しや販売

・すでに日本でも108種類の先端医療が、保険商品として民間医療保険を認められている

・国家戦略特区で基金形成の全面解禁

・患者申し出医療制度による自由診療の拡大

高価・高質な 先端医療 先端医療	⇨ 民間医療保険	⇨ 安易・安価な 一般医療	⇨ 公的医療保険
------------------------	----------	------------------	----------

医療機関の法人格

・神奈川県国家戦略特区では、株式会社を医療機関を認めている

・韓国では医療法人が株式会社に変身している

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	10,080 円	備考
-----------	-----	----------	----

No. _____

領 収 書

まちだ市民クラブ会派 様



但 2016年度会費として

2016年11月18日 上記正に領収しました。

〒 156-0044

(住所) 東京都世田谷区赤堤4-1-6赤堤館3階

(氏名) 特定非営利活動法人

市民がつくる政策調査会



ご 利 用 明 細 票

お取扱日	店番	取扱番号
28-11-18	01426	A93160002
取扱店	ナルセシミス タニ	
払込口座	00170-8	358031
払込金額	*10,000	料金 *

001708	振替受付票 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行)
358031	
年10000	
まちだ市民クラブ会派様	

入金額 *10,100
おつり *20

ゆうちょ口座間送金は月3回まで無料、月4回目以降1件につき123円

印紙税申告納付につき趣町
税務署承認済

は別紙に貼る。

市民がつくる政策調査会

- [ホーム](#)
- [活動・調査](#)
- [発行物](#)
- [本会について](#)
- [入会のご案内](#)
- [アクセス](#)
- [お問い合わせ](#)

本会について

政党だけではなく、市民の「政策調査会」があってもいい

日本の主な政党には「政務調査会」「政策審議会」「政策調査会」などと名前は違っても、政党としての政策をまとめるセクションがあります。「市民がつくる政策調査会」という名前は、この「政策調査会」を市民が作ろうという意味をこめて名付けられました。「政策をつくる」という作業を、いつまでも官僚や政党の「特権」にしているわけにはいきません。もはや市民自身が「政策をつくる」時なのだと思われは考えます。

経済成長優先の時代は終わり、市民社会の充実を図る時代

かつて日本が高度経済成長を続けていたころは、先進工業諸国に追いつけ追い越せ、という目標をかかげ、増加し続けるパイを分配することで、問題の解決がはかれたのかもしれませんが。しかしながら、もはやそのような時代は終わりました。数字の上では、すでに日本は世界でも屈指の経済大国になりました。さらに、地球環境の危機が現実のものとなり、無限の経済成長など不可能であることも国際社会の中の共通認識となりつつあります。時代が変われば、政策も変わらなければなりません。しかし、社会の中核を占める勢力は、未だに経済成長を追い求めていた時代の発想から抜け切れず、市民生活の充実よりも、産業優先、開発優先の政策をとり続けています。市民の生活や市民活動の課題を解決するには、市民自らが「政策」を練り上げ、政治過程に反映していく必要があると私たちが考えた背景には、このような現状認識があります。

活動の三つの段階

私たちは、市民社会のさまざまな課題の有効な解決方法を発見し、創造しあう場としてこの「市民がつくる政策調査会」を設立しました。そのめざすところをまとめると下図のようになります。

市民の生活や運動の中から生まれてく要求や課題を整理する。	→	市民自身がそれらの解決策を模索し、政策にまとめる支援をする。	→	市民がつくる政策を、政治過程に反映させるしくみをつくる。
------------------------------	---	--------------------------------	---	------------------------------

基本資料

- [役員名簿](#)
- [定款](#)
- [設立趣意書](#)

市民がつくる政策調査会・ご入会（継続）のご案内

大変お世話になっております。

さて、2016年度の会員登録（会費の納入）がまだ確認できておりません。大変恐縮ですが、総会等の議決の有無にも関係しますので、ご入会・会員継続のお手続き（会費の振込）をお願いできればと存じます。

今後もさまざまな事業活動を進めていきたいと思っておりますので、ご指導、ご協力のほど賜りますよう、お願い申し上げます。

□会員の種類・会費（一口）

- 個人会員 10,000円
- 賛助会員 20,000円
- 団体会員 50,000円

□振込先

- 郵便振替 00170-8-358031
市民がつくる政策調査会

- 三菱東京UFJ銀行 麹町中央支店 普通口座
口座番号 1238287

口座名：特定非営利活動法人 市民がつくる政策調査会
(トクテイエイリカツトウホウジン シミンガツクルセイサクチョウサカイ)

□会員の特典

- 「季刊アドボカシー」の送付
- 研究会等へのご参加（適宜）
- 各種報告書等の送付（適宜）

など

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	500 円	備考
-----------	-----	-------	----

領 収 証

まちだ市民クラブ

2017年 1月 14日

様

★	¥	5	0	0					
---	---	---	---	---	--	--	--	--	--

但 清産会 控別代 202
上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

〒194-0001 東京都町田市つくし野2-16-1
ほっと・ステーション 5 5



領収証 No.6

※ 領収書は重ねて貼付しない。
※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。



NPO法人 ほっと・ステーションらら

WELCOME ほっと・ステーションらら ♪

「ほっと・ステーションらら」は重い障がいのある子の卒後を考える会「きらり」によって重度障がい児者の地域生活支援のために設立された法人です。

- ・ご家族のほっと一息を応援します。
- ・連携医、看護師など、医療と福祉のスタッフが連携して、医療的ケアが必要な方が安心できるサービスを提供します。
- ・ご家庭における介護の一部をともに担い、円滑な家庭生活を応援します。
- ・他の地域機関とのネットワークを大切に、連携してサービスの充実を図ります。
- ・地域の方々に「ほっと・ステーションらら」の活動を知ってもらい、地域で生活をする障がい児者の理解者を広げていきます。



NPO法人 ほっと・ステーションらら

10周年記念講演会 無事終了しました！

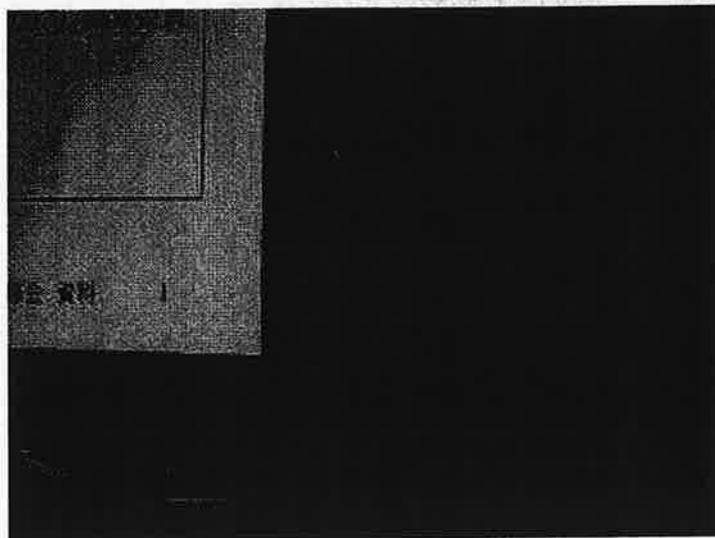
1月 17日

重症心身障がい児者と家族が住みよい地域をめざす

去る1月14日
町田文化センターにて
上記のテーマで
又村あおい氏を講師にお迎えし
記念講演会を開催しました。
町田でお世話になっている方々を中心に
たくさんの方にお集まりいただき盛況の中
とても良いお話を聞くことができました。



重症心身障がい児・高度医療依存児者の
ライフステージごとの利用可能なサービスや
今後求められる視点、支援に関する法体系などを
わかりやすく、時におもしろくお話しして下さった又村あおい氏。



お集まりくださった皆様、ありがとうございました。
その他いつも色々な形でお支援頂いている方々
皆様のおかげで無事に10周年をむかえることができました。
厚く御礼申し上げます。
今後ともほっと・ステーションららを
何卒よろしくお願い申し上げます。

1月

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	27,000 円	備考	
-----------	-----	----------	----	--

領 収 証

NO.20170116-65-1

まちだ市民クラブ会派 様

¥27,000-

但し 財政分析基礎講座受講料として

2017年 1月 16日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8003



- ※ 領収書は重ねて貼付しない。
- ※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

月別アーカイブ: 2016年12月

一般, 講座・イベント情報, 財政分析講座, 重要

【終了】財政基礎講座「よくわかる市町村財政分析」【2017年1月】のご案内

2016年12月6日 | TAMA-KEN



財政危機。いまやどの自治体でも決り文句です。財政が分からずに残念な思いをしていませんか。実はどのまちにも改善すべき多くの財政課題があります。財政分析が苦手な人や忙しくて困っている人のために、二日間で財政分析の基礎が学べる集中講座を用意しました。

講師 大和田一紘 多摩住民自治研究所理事
石山 雄貴 東京農工大学大学院博士課程

日程

2017年1月16日(月)17日(火)

時間

1日目午後1時～午後7時30分、2日目午前9時15分～午後3時
(時間のある方は二日目終了後、午後4時まで質疑や演習が可能です。)

会場

富士電機能力開発センター(Tel. 042-585-6334、富士電機の宿泊研修施設です。)

* JR中央線・豊田駅北口徒歩5分。東京駅—豊田駅は中央特快46分、快速60分。

受講料 27,000円(消費税込。以下同様)

当講座の再受講者 25,000円 町村議員は24,000円、当研究所会員は22,000円

研修・研究・会議費	頁小計	2,000	円	備考
-----------	-----	-------	---	----

領 収 証

2017年1月21日

おだ市民クラブ会派 様

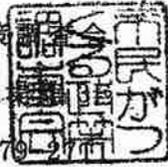
¥ 2,000-

但 第4回「市民自治講座 2016」受講料として 正に領収いたしました

市民がつくる政策

156-0044 東京都世田谷区赤堤 4-1-6 赤堤

TEL:03-6820-8061 FAX:03-6379-2700



討議デモクラシーのかたち —参加型市民政治に向けて—

【プログラム】

13:30 開会・挨拶

【第1部】競争から参加型民主主義へ —戦後日本の政党政治から学ぶ

◎ 中北 浩爾 一橋大学大学院社会学研究科・社会学部教授

15:00 【第2部】地域政党の取組みから学ぶ

◎ 佐々木 ゆみこ 神奈川県議会議員/神奈川ネットワーク運動

◎ 村上 典子 豊島区議会議員/東京・生活者ネットワーク

16:00 休憩

16:10 【第3部】参加型民主主義のかたちを考える —政党政治と市民参加のあり方(全員討議)

◎ 進行:白井 和宏 市民セクター政策機構専務理事

17:30 閉会

◎開催日 2017年1月21日(土)13:30~17:30

◎会場 中央大学駿河台記念館 3F・320号室

◎主催 「市民自治講座」委員会

◎連絡事務局 「市民自治講座」委員会・事務局 156-0044 東京都世田谷区赤堤 4-1-6 赤堤館 3F

TEL:03-6820-8061 FAX:03-6379-2711 メール:shimin@c-poli.org

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費

頁小計

300 円

備考

領 収 証

No. _____

まちだ市民クラブ 様

2017年1月26日

★ 7,300

但 まちだ自治研究センター学習会 資料代として
上記正に領収いたしました。

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

まちだ自治研究センター理事

小松文



コクヨ ウケ-78N

- ※ 領収書は重ねて貼付しない。
- ※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

2017年1月5日

関係各位

まちだ自治研究センター
理事長 小松 文明
(自治労町田市職員労働組合
中央執行委員長)

まちだ自治研究センター総会・講演会の開催について

日頃からご支援いただき厚く御礼申し上げます。
さて、標記の件につきまして、下記の日程で開催することとなりました。
ご都合がよろしければ、ご出席をいただければと存じます。

記

1. 日 時 2017年1月26日(木)
第1部：定期総会 午後6時00分から
第2部：講演会 午後6時30分から
2. 場 所 町田市役所2階会議室 2-1
3. 内 容 講演会テーマ『住民自治と地域再生』
～「地方創生」と東京を考える～
4. 講 師 読売新聞東京本社編集局企画委員 青山 彰久 氏

連絡先 自治労町田市職員労働組合
地域活動部 佐藤、佐々木
(電話 042-724-2194)
(FAX 042-724-5903)

研修・研究・会議費

頁小計

2,000

円

備考

領 収 証

2017年1月21日

おだ報行フ会派 様

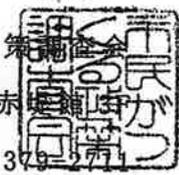
¥ 2,000-

但 第4回「市民自治講座2016」受講料として 正に領収いたしました

市民がつくる政策調査会

156-0044 東京都世田谷区赤堤 4-1-6 赤堤郵便局

TEL:03-6820-8061 FAX:03-6379-2771



討議デモクラシーのかたち —参加型市民政治に向けて—

【プログラム】

13:30 開会・挨拶

【第1部】競争から参加型民主主義へ —戦後日本の政党政治から学ぶ

◎ 中北 浩爾 一橋大学大学院社会学研究科・社会学部教授

15:00 【第2部】地域政党の取組みから学ぶ

◎ 佐々木 ゆみこ 神奈川県議会議員/神奈川ネットワーク運動

◎ 村上 典子 豊島区議会議員/東京・生活者ネットワーク

16:00 休憩

16:10 【第3部】参加型民主主義のかたちを考える —政党政治と市民参加のあり方(全員討議)

◎ 進行:白井 和宏 市民セクター政策機構専務理事

17:30 閉会

◎開催日 2017年1月21日(土)13:30~17:30

◎会場 中央大学駿河台記念館 3F・320号室

◎主催 「市民自治講座」委員会

◎連絡事務局 「市民自治講座」委員会・事務局 156-0044 東京都世田谷区赤堤4-1-6 赤堤館3F

TEL:03-6820-8061 FAX:03-6379-2711 メール:shimin@c-poli.org

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費

頁小計

3,000 円

備考

3,000

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
29-01-24	01358	A93130020
取扱店	マチタ オヤマタ サクラグアイ	
払込口座	00140-9 611310	
払込金額	*3,000 料金 *0	

口座番号	00140	9	611310	9	0	0	0	0	0
振替受付票	NPO法人 町田ハンディキャプ友の会 〒317-0000 町田 3-1-10 振替金額 3,000 円 振替人 河也麻太郎 様 受付日 29年1月24日								

振替受付票
 払込みの証拠となるものですが、大切に保存して下さい。
 料金には、消費税等が含まれています。
 (ゆうちょ銀行)

入金額 *10,000
 おつり *7,000

年金 新規お受取りキャンペーン
 実施中！詳しくは、貯金窓口へ。

会費

印紙税申告納付につき幾町税務署承認済

入会案内

会員の種別:

- (1) 正会員 : 会の趣旨に賛同し、会の運営に係って頂ける方。
- (2) 利用会員 : 障害又は高齢のため外出困難な方で会の支援活動
- (3) 賛助会員 : 会の趣旨に賛同し会の活動を賛助していただける方
 運転協力をして頂ける方。

会員数: 約300名(平成16年3月現在)

会費:

- (1) 正会員 : 年会費 3,000円
- (2) 利用会員 : 入会金 2,000円、年会費 3,000円
- (3) 賛助会員 : 年会費 個人一口 3,000円
 法人一口 10,000円
 (運転協力会員は年会費が免除されます。)

利用料: 御利用に際しては実費(燃料代、車維持費、駐車料金、高速利用者の負担となります。)

詳しくは町田ハンディキャプ友の会の定款及び御利用のしおりを御参照

御入会のすすめ: <<<

地域福祉活動に携わって見たい方、ボランティア活動に加わって見たい方
 電話、メールで、又は事務所へ直接お尋ね下さい。
 安全運転をして頂ける方は是非とも会に御登録下さい。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	28000 円	備考	
-----------	-----	---------	----	--

領 収 証

No.20170213-72-1

まちだ市民クラブ会派 様

¥28,000-

但し 第27回「議員の学校」参加費として

2017年2月13日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-80



※ 領収書は重ねて貼付しない。
※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。



第 27 回

議員の学校

◆ 学校長 池上 洋通

今回の学校のポイント

- ◎米大統領選挙後の世界と日本の情勢を把握
- ◎新年度国家予算と地方財政の課題がわかります
- ◎介護保険「改革」に向き合う先進事例を学びます
- ◎小中一貫教育と学校統廃合の本質に迫ります
- ◎子どもの貧困と保育園待機児解決の政策と展望

○激動する情勢をつかみ、地域と住民の暮らしに向き合うために
「2017年度予算と直面する政策課題」
— 介護・保育・教育 —

プログラム

- ◇ 講義 1 「2017 年度国家予算と地方財政の課題」 ————— 講師：川瀬光義氏
- ◇ 講義 2 「介護保険『改革』に自治体はどう向き合うか」 ——— 講師：石川 満氏
- ◇ 講義 3 「子どもの成長・発達と『小中一貫教育』・『学校統廃合』」
 ————— 講師：荒井文昭氏
- ◇ 講義 4 「子どもの貧困と幼児政策の課題」 ————— 講師：池上洋通氏



川瀬光義氏

(京都府立大学教授)



石川 満氏

(元日本福祉大学教授)



荒井文昭氏

(首都大学東京教授)



池上洋通氏

(自治体問題研究所理事)

大好評です—政党会派を超えて、だれもが参加できる議員の学校です

- 第一線に立つ研究者が、自治体の実際例をあげて分かりやすく講義します
- 東日本大震災・被災地からのナマの実践報告が、参加者の胸をうちます。
- 参加者と講師が一体になるシンポジウム—笑い声が会場にあふれます。
- 率直に語り合う懇親交流会で、自治体をこえた結びつきが生まれます。

誰でも
参加できる
議員の学校
です

日 時 2017 年 2 月 13 日(月)午後1時~14 日(火)午後4時00分

会 場 たましんRISURUホール JR 中央線立川駅南口徒歩 13 分

TEL: 042-526-1311 (東京-立川 快速電車で 50 分、中央特快で 41 分)

受講料 28,000 円 再受講 26,000 円/町村議員 25,000 円/多摩住民自治研究所会員 23,000 円/新規多摩研入会の方 22,000 円*被災県(岩手県・宮城県・福島県)の方は 10,000 円

定 員 70 名 (ご宿泊はご自身でお手配ください)

主催 NPO 法人多摩住民自治研究所 〒191-0016 日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL042-586-7651 Fax042-514-8096 E-mail tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp http://www.tamaken.org

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	3,000 円	備考
-----------	-----	---------	----

領 収 書

J-CEF

またたび市民クラブ会派 様

¥ 3,000 -

但 参加費として
2017年3月18日 上記正に領収いたしました

日本シティズンシップ教育フォーラム
〒661-0965 兵庫県尼崎市次屋1丁目2番地20 11209
Tel.070-6506-0369 URL <http://jcef.jp/>

- ※ 領収書は重ねて貼付しない。
- ※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

第4回シティズンシップ教育ミーティング

0

ツイート

いいね!

 4人がいいね!しています。

現在日本各地では、様々なシティズンシップ教育の実践や研究、政策形成が展開されてきています。いま大切なのは、異なる立場や関心、力点をもった方々がともに集まり、議論を交わし、その多様性を日本のシティズンシップ教育のさらなる発展への活力としていくことではないでしょうか。

日本シティズンシップ教育フォーラムでは、そのように多様な方々が交わり、議論を深める機会として「第4回シティズンシップ教育ミーティング」を開催いたします。今年度は「シティズンシップ教育で育む『市民』とは？」何かにについて、全体会で大きく取りあげます！

<1日目 (3/18) >

◆オープニング (13:00-13:30)

◆全体会「シティズンシップ教育で育む『市民』とは？」 (13:30-17:30)

○テーマ解題：

小玉重夫さん (東京大学大学院教育学研究科教授)

○キーノートスピーカー：

湯浅 誠さん (法政大学社会学部教授、社会活動家)

桑原敏典さん (岡山大学大学院教育学研究科教授)

○コメンテーター：

萩原なつ子さん(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授)

◆交流会(18:00-20:00)

<2日目(3/19)>

◆自由発表セッション、授業体験会(9:30-11:30)

研究発表や実践発表、模擬授業提供を公募いたします!

ご希望の方は、「(1)お名前、(2)ご所属、(3)発表タイトル、(4)発表種類の選択(研究発表・実践発表・模擬授業)」を明記の上、「info@jcef.jp」までご連絡ください。

◆分科会(12:30-15:15)

■第1セッション「小・中・高校における対話の場づくり」

○ゲスト:

佐藤孔美さん(お茶の水女子大学附属小学校教諭)

上田秀麿さん(一橋大学大学院社会学研究科博士課程前期課程)

○コーディネーター:

唐木清志さん(筑波大学人間系准教授)

■第2セッション「いまのグローバル化の流れの中でどのようなシティズンシップ教育を進めるべきか?」

○ゲスト:

筒井哲朗さん(シェア・ザ・プラネット代表)

齋藤実央さん(教育ファシリテーター)

ハンガメンさん(東京大学教育学部4年生, 香港からの留学生)

○コーディネーター:

水山光春さん(京都教育大学教育学部教授)

■第3セッション「社会責任を果たす経済主体をどう育むか?~学校と企業の連携の取組から学ぶ~」

○ゲスト:

佐藤芳孝さん(文京学院大学女子中学校・高等学校統括校長)

小川 愛さん(日本IBMマーケティング&コミュニケーション/社会貢献部長)

○コーディネーター:

林 大介さん(東洋大学社会学部助教、模擬選挙推進ネットワーク事務局長)

■第4セッション「主権者教育を高校から大学へどうリレーしていくか?」

○ゲスト:

佐藤 淳さん(青森中央学院大学経営法学部准教授)

小玉重夫さん(東京大学大学院教育学研究科教授)

立教サービスマーケティング履修学生1-2名及び連携した都内私立高校の生徒1-2名

○コーディネーター:

藤枝 聡さん(立教大学総長室調査役)

■第5セッション「シティズンシップ教育の社会的意義を『評価』でどう表現するか?」

○ゲスト:

佐藤智子さん(東北大学高度教養教育・学生支援機構准教授)

河原洸亮さん(広島大学大学院教育学研究科博士課程前期過程)

○コーディネーター:

古田雄一さん(大阪国際大学短期大学部専任講師)

◆全体会「高校生・大学生発表セッション」(15:30~16:30)

研究発表や実践発表、模擬授業提供を公募いたします!

ご希望の方は、

http://jcef.jp/news/report/networkmeeting/20170110_1022/ (J-CEF HP) にアクセス、募集要項 (PDF) をご覧の上、エントリーシート (Excel) を記入し、「info@jcef.jp」までお送りください。

◆クロージング (16:00-17:00)

なお、属性によって参加費が以下の通り、異なります。

会員3,000円、非会員5,000円、大学生1,000円 (会員・非会員問わず)、高校生以下 無料

- 対 象 : J-CEF会員および本企画にご関心のある方
- 定 員 : 150人 (先着順)
- 主 催 : 日本シティズンシップ教育フォーラム (J-CEF) (担当 : 川中・古田)
- 共 催 : 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科・社会デザイン研究所

<個人情報の取扱い>

記載の個人情報は本セミナーの実施および今後の催事実施において、日本シティズンシップ教育フォーラムが利用します。個人情報は目的の範囲内で利用するとともに適切な方法で管理し、法令上の特段の事情がない限り、本人の同意なしに第三者への目的外での開示・提供はいたしません。

開催概要

日時	2017年03月18日(2日間開催) 2017年3月18日(土) 13:00~20:00 (12:30開場) 2017年3月19日(日) 09:30~17:00 (9:00開場)
開催場所	立教大学池袋キャンパス 本館 (モリス館) ・12号館 (東京都豊島区西池袋3-34-1) →大きい地図を開く
参加費	5,000円(税込)
定員	150人(先着順)
申し込み開始	2017年01月10日 12時00分から
申し込み終了	2017年03月18日 12時00分まで
懇親会	18時~20時
懇親会場所	立教大学池袋キャンパス (東京都豊島区西池袋3-34-1) →地図を開く
懇親会費	3,000円 (予定) (税込)
懇親会定員	80人(先着順)
主催	日本シティズンシップ教育フォーラム (J-CEF)